

## タイ・カセサート大学教育学部の教員・学生が来学

4月2日、協定校であるカセサート大学から、教育学部の教員と大学院生が22名来学され、教育学部教員との意見交換や附属小学校訪問を行いました。

永井邦彦教育学部長からの歓迎あいさつに続き、カセサート大学との交流コーディネーターである富田晃彦教授から教育学部の概要紹介、添田久美子教授から教職大学院構想を説明し、活発な質疑が行われました。教育学部関係者同士の質疑では、和大的教育学部の特色の一つでもある「へき地・複式教育実習」への関心が高い様子がうかがえました。

4月から就任しました瀧寛和学長、呉海元国際交流担当理事と懇談した際には、お互いにこれまでの交流への感謝と、今後の交流関係が一層深まることへの期待が述べられました。



永井学部長を囲んで



教育学部の概要



教職大学院について



瀧学長、呉理事と懇談

附属小学校は、カセサート大学附属小学校との交流を2012年から続けてきているため、春休みのため子どもたちはいなくてもぜひ訪問したいとのカセサート大学側からの希望がありました。日頃の子どもたちの様子は映像でご覧いただき、校内視察では、新入生の受

入りを翌週に控え、教室や廊下の「ご入学おめでとう」と書かれた飾り付けや、開放的な壁のない教室などをご覧いただきました。池田彦男副校長からは、「今年は、ぜひ附属小学校からタイを訪問させていただきたい。」とのご挨拶で、今後につながる訪問となりました。



桜が満開の附属小学校



カセサート大学附属小学校との交流の様子

国際教育研究センター

2015年4月